

事務事業チェックシート

事務事業No 280 事業名 認定こども園等整備事業

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	1	安心して子供を生み育てることのできる環境の整備
施策	1	安心して子供を生み育てることのできる環境の整備
取組方針	2	子供が健やかに育つことのできる環境づくり

事業種別	継続		
事業期間	H27 ~		
事業実施の根拠法令	子ども・子育て関連3法		
関連個別計画	和歌山市立認定こども園整備計画		
担当課・担当課長・Tel	子育て支援課	幸前 知子	435-1329
関連課	保育こども園課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		民生費	
	項		児童福祉費	
	目		児童保育費	
	大事業		児童保育事業	
中事業		認定こども園等整備事業		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か 社会福祉法人等が運営する保育所及び認定こども園(移行を含む)において、創設・待機児童の解消・老朽化の改善等を目的とした施設整備に要する費用の一部を助成することにより、保育環境の整備を図る。		全体事業概要 社会福祉法人等が行う施設整備に対し、補助金を交付する。 ・補助金交付の流れ 法人から交付申請→市の交付決定→法人から完成検査請求→市完成検査・検査証の発行→法人からの実績報告→市の確定通知→法人から交付請求→市からの補助金交付 ・補助の条件 実施主体：社会福祉法人、学校法人、公益財団法人等 施設整備：新規創設、待機児童解消や老朽化の改善を目的とした建替え及び改修			
	事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
私立保育所の施設整備に対する補助 (しょうぶ保育園・ひまわり保育園・三宝幼稚園・河西こども園・愛徳幼稚園)		私立保育所の施設整備に対する補助 (むつみ保育園・ひかりこども園・じろうまる保育園・さつきこども園)	私立保育所及び認定こども園の施設整備及び防犯対策強化に対する補助、病児保育施設整備に対する補助 (山口保育園・名草幼稚園・のざき保育園・愛徳幼稚園・いさお幼稚園・しょうぶこども園・こひつじこども園・まことなるたきこども園・せせらぎクリニック・月山チャイルドケアクリニック)	私立保育所の施設整備に対する補助 (かんどり・保育園・東洋保育園・まつえ幼稚園・布施屋保育園)		

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,135,826	493,247	641,455	1,045,349	509,079	819,776	674,048			
伸び率(%)	-	-	▲43.5%	111.9%	▲20.6%	▲21.6%	32.4%	▲100.0%	▲100.0%	-
人件費	正規職員	21,018	18,851	18,851	21,549	21,673	28,837	26,498		
	正規職員以外	4,960	2,918	2,918	2,630	1,187	962	478		
	小計	25,978	21,769	21,769	24,179	22,860	29,799	26,976		
国庫支出金	923,073		101,614	859,914	406,036	254,631	561,708			
県支出金		430,540	434,696		6,355	434,787				
市債	169,700	58,100	79,000	139,400	71,900	104,000	106,000			
その他										
一般財源(税等)	43,053	4,607	26,145	46,035	24,788	26,358	6,340			
所要人数(人)	正規職員	2.91	2.48	2.48	2.71	2.73	3.62	3.32		
	正規職員以外	2.52	1.33	1.33	1.20	0.29	0.29	0.19		
主な予算内訳	認定こども園等整備事業費補助金 674,048千円									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 補助申請施設数	園	目標値	5	4	3	4	
		実績値	5	4	3		
		達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標 整備完了施設数	園	目標値	5	4	3	4	
		実績値	3	5	4		
		達成度(%)	60.0%	125.0%	133.3%		

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	老朽化した施設の建替え・改修等及び認定こども園への移行のための施設整備を自己資金のみで実施することが困難な保育所、認定こども園等が多いため、当該補助金を活用し保育環境の改善を図る。
見直し・改善内容	市内において待機児童が発生しており、保育施設の需要が高まっている。 待機児童の解消を含む子育てを支援するため、保育所・認定こども園及び認定こども園に移行する幼稚園を対象に加え、施設整備を実施していく。